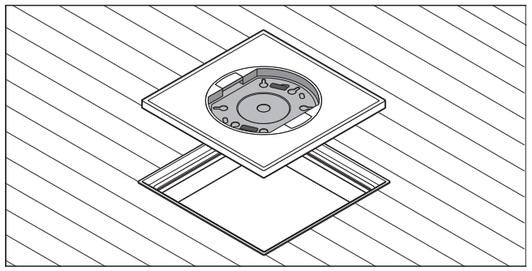
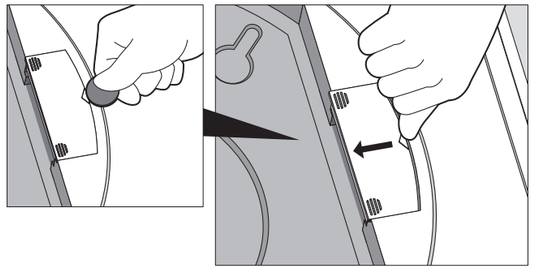
5 フタを取り付けます

フタを外枠へセットし、開閉に支障がないか、ガタツキがないかを確認してください。
※6の体組成計設置までの間は、体組成計の代わりに付属する段ボール(凹み部分養生用)を使用し、段差解消をおこなってください。

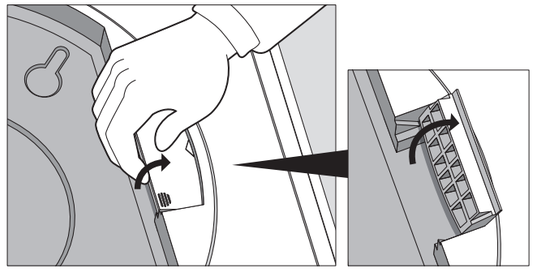


6 体組成計(別梱包)を設置します

1 体組成計取り出しフタの△部を内側にスライドさせてロックを外す。
※コインなどの使用をおすすめします。



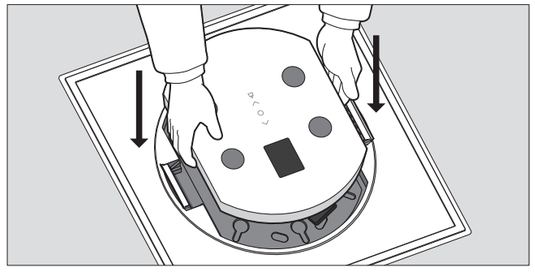
2 浮いた体組成計取り出しフタの内側をつまんで開ける。



3 体組成計に電池を入れる。
(→「体組成計 取扱説明書」P.10)
※電池は付属しません。



4 体組成計を設置し、体組成計取り出しフタを閉じる。
※体組成計取り出しフタが開いていること、体組成計の設置場所に異物がないことを確認してください。
※閉じる手順は、開ける場合の逆です。
※体組成計を設置する際は、指詰めに注意してください。



❗閉じた後、体組成計取り出しフタの△部分を上から押し、体組成計取り出しフタが開かないことを確認してください。

7 施工後の確認

下記の項目について、施工後の確認をしてください。

	チェック項目
□	スライドコアが全て取り付けられ、キャップが確実に取り付けられていますか? 4の2
□	点検口のフタの開閉はスムーズですか?
□	点検口のフタや体組成計にガタツキはありませんか?
□	体組成計の取り出し(体組成計取り出しフタの開閉)はスムーズですか?
□	外枠がフロア面にすき間なく取り付けられていますか?
□	保証書へ取り付け日または竣工日の日付と、工務店または工事店様の明記はありますか?

城東テクノ株式会社
ユニークな建材で長持ち住まいをささえます。

本製品に関するお問い合わせは
ダイヤル【J】0120-106011
受付時間(土・日・祝を除く) 9:00~12:00/13:00~16:00
城東テクノホームページ
Joto
https://www.joto.com

Information ※製品の仕様は予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

第①版 2609SK

Joto

要保存

施工説明書

体組成計付き高気密型床下点検口(断熱型) NORNE 断熱型

SPF-R60TS-BC1

この度は本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
正しく取り付けていただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書を**よくお読みいただき施工してください。**
施工説明書は工事終了後、お施主様にお渡しください。また、この施工説明書は本製品の取扱説明書、体組成計の取扱説明書と一緒に保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

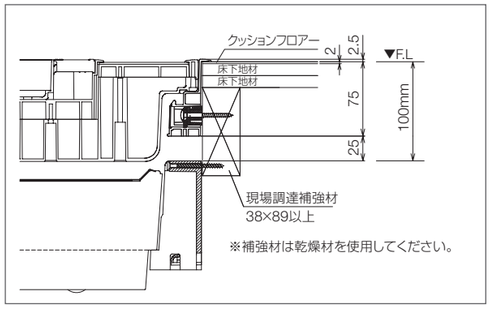
●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

⃠	この記号は、禁止の行為を示しています。
❗	この記号は必ず実行していただく「指示」内容を示しています。

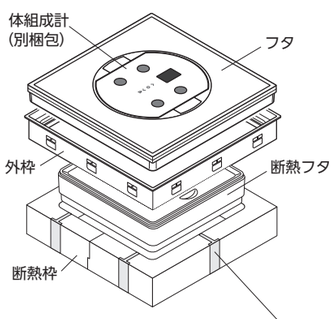
⚠注意

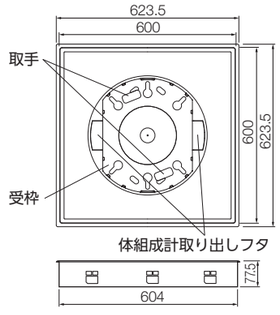
⃠ 禁止	樹脂製ですので、火気や溶剤は使用しないでください。
	樹脂製ですので、熱源(投光器など)のそばに置かないでください。
	製品に直接水をかけないでください。漏水の原因になります。
❗ 指示に従う	体組成計が設置されるまでの間は、付属の段ボールで凹み部分の養生をおこなってください。 段差がある状態の場合、ケガや製品の破損に繋がるおそれがあります。
	保管は直射日光の当たる場所や高温になる場所を避けてください。変形・破損の原因となります。

■標準納まり図(施工例)



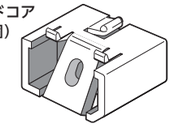
■製品図





付属品

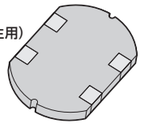
●スライドコア(12個)



●スライドコア用木ビス ⌀4.5×50mm(12本)



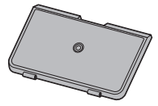
●段ボール(凹み部分養生用)



●下地テープ(4枚)



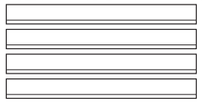
●キャップ(12個)



●断熱枠取付ビス ⌀3.8×57mm(6本)



●気密テープ付きパッキン(4枚)



●コーナー用三角パッキン(4枚)

※専用の体組成計は別売品となります。

⚠注意 断熱枠支持ブラケットは断熱枠に取り付けた状態で納品されます。開梱時に万一断熱枠支持ブラケットが断熱枠から外れている場合は、図のように適切な位置に戻してから施工してください。



⚠注意：断熱枠は梱包の緩衝材ではありません。絶対に捨てないでください。
収納庫は使用できませんのでご注意ください。

城東テクノ株式会社

NORNE 断熱型

施工説明書の見方

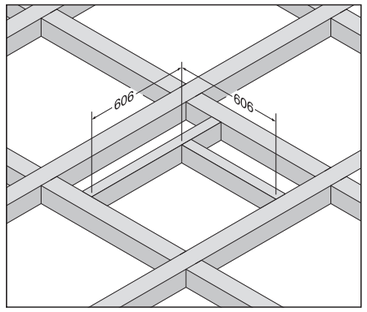
この施工説明書は体組成計付き高気密型床下点検口(断熱型)を掲載しています。下記事項を基に施工寸法に誤りがないようご注意ください。

1 施工の前に

収納庫は使用できませんのでご注意ください。

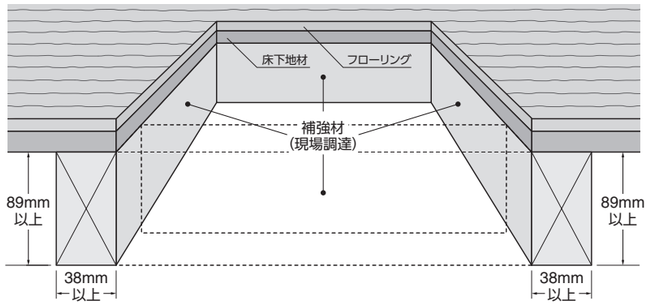
2 下地を作り、床下点検口の外枠を取り付けます(根太、補強材の構成)

1 取り付けには**606×606mm**の開口部が必要です。

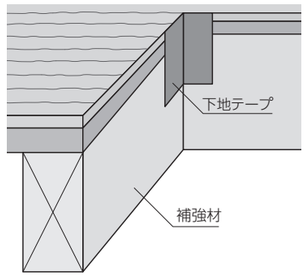


2 幅38mm以上、高さ89mm以上の補強材で四方に下地を組みます。

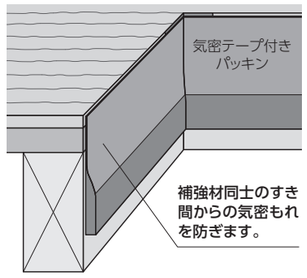
※補強材には乾燥材をご使用ください。
※床の開口部が荷重に耐えられるよう、下地組みは十分強度が確保できるように施工してください。



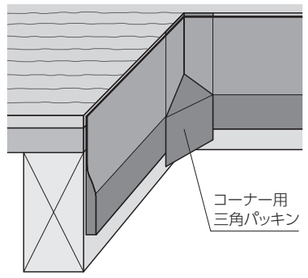
3 コーナー部に付属の下地テープのみを貼ってください。



下地材の側面に付属の気密テープ付きパッキンを貼り、気密処理をしてください。

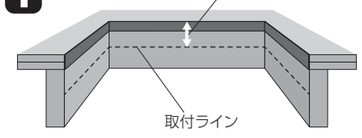


コーナー用三角パッキンを、さらに上から貼ってください。



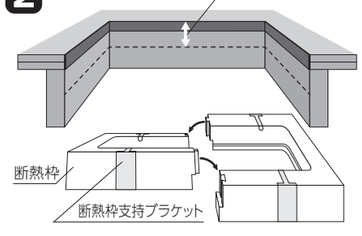
3 断熱枠と外枠の施工手順

1 FL−100㎜



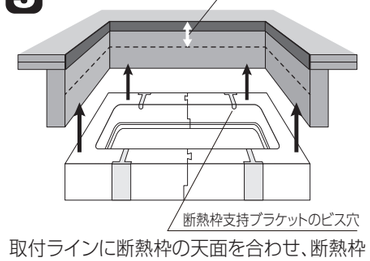
FLより100㎜下がった位置に取付ライン(断熱枠の天面となる線)をつけます。

2 FL−100㎜



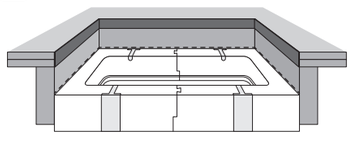
断熱枠をばらした状態で外枠から床下に入れ、断熱枠支持ブラケットのビス穴がある方を上にして床下で組みます。

3 FL−100㎜



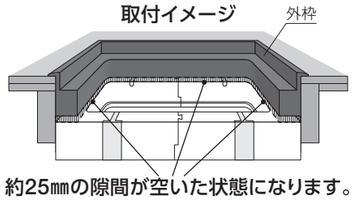
取付ラインに断熱枠の天面を合わせ、断熱枠支持ブラケットのビス穴から、付属の取付ビス(∅3.8×57mm)で補強材に留め付けます。

4



4-**1**からの要領で外枠を取り付けます。

取付イメージ



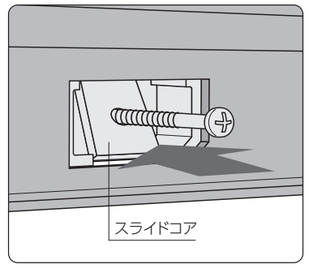
約25㎜の隙間が空いた状態になります。
※点検口のフタと断熱フタが干渉しない隙間寸法

⚠注意 点検時に断熱枠を取り外す場合

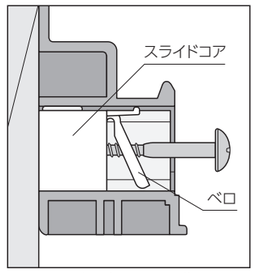
断熱枠支持ブラケットの取付ビスを外して断熱枠を押し下げて外してください。また、その際に断熱枠が破損しないようご注意ください。元に戻す場合は**3**と同じ手順となりますが、その際は電動ドラバーは使用せず、手回しでビスを留め付けてください。

4 スライドコアを取り付けます

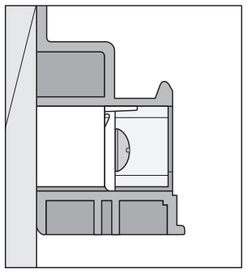
1 3-**4**に外枠を取り付けます。外枠側面に同梱されているスライドコアを**奥まで**差し込み、スライドコア用木ビス(∅4.5×50mm)で補強材(現場調達)に留め付けます。
※スライドコアは中央部分から留め付けてください。





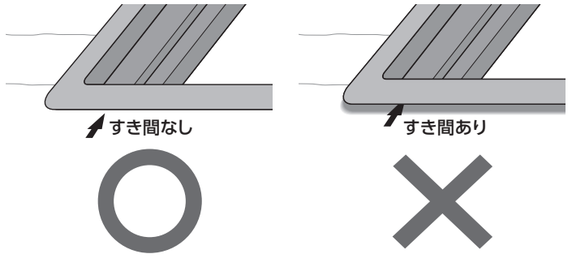


木ビスは必ず**水平に**入れてください。

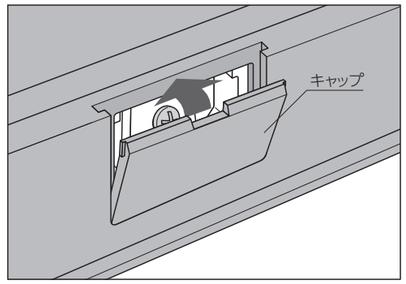


ベロがまっすぐ立つまで木ビスを留め付けてください。

!注意 スライドコア設置後、外枠とフロア面にすき間がないことを必ず確認してください。すき間があると、外枠が割れたり、気密性を損なう原因となります。



2 **1**で取り付けた外枠に、同梱しているキャップをセットしてください。



※各辺スライドコアの取付位置をずらしていますので、外枠を回転させれば補強材に対するビス打ち込み位置が変わります。

■スライドコアの取り付けについてのお願い

下記の図のとおり、外枠をフロア面に置き、フリーハンドでスライドコアを取り付けると、スライドコアだけが補強材方向に動きます。
ベロが気密材の厚さ分だけ外枠を押さえ込み、外枠がフロア面にぴったり納まります。
なお、スライドコアは、あらかじめ外枠の奥まで確実にセットしてください。

